

# 美術は語る 木村泰司の西洋美術史

講師 美術史家 木村 泰司

美術鑑賞をより楽しむために、まずは個人の主観を省き、自分の好き・嫌いで鑑賞することを止めてみましょう。何が美しいかを学ぶことが出来るのが美術史であり、そしてそれが美術史の楽しさでもあります。それぞれの時代のエッセンスを吸収し、造形化したものが美術です。美術史を通じて美の規範を学び、それぞれの時代背景を知ることによって、建築、絵画、そして彫刻は、様々なことを私たちに語り掛けてくれるようになるのです。(講師記)



©高木昭仁

<今期テーマ> ※今後のテーマは裏面をご覧ください。

- 1/6 第4回 ゴシック美術と国際ゴシック様式
- 2/3 第5回 初期ネーデルラント絵画 (前編)
- 3/3 第6回 初期ネーデルラント絵画 (後編)

<講師紹介>木村 泰司(きむら たいじ)

1966年生まれ。米国カリフォルニア大学バークレー校で美術史学士号を修めた後、ロンドンサザビーズの美術教養講座にてWORKS OF ART 修了。ロンドンでは、歴史的なアート、インテリア、食器等本物に触れながら学ぶ。知識だけでなく、エスプリを大切に、全国各地での講演会、セミナー、イベントは新しい美術界のエンターテイナーとして評判をよんでいる。著書に『名画の言い分』(集英社)、『印象派という革命』(集英社)、『おしゃべりな名画』(KKベストセラーズ)、『名画は嘘をつく』(ビジュアルだいわ文庫)、『知識ゼロからの肖像画入門』(幻冬舎)ほか、エッセーの執筆などで活躍中。

日 時 2018年 1/6、2/3、3/3 全3回  
土曜日 13:00~14:30

受講料 会員 9,072円 (入会金は5,400円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です)  
※入会金、受講料、教材費等は消費税8%を含む金額です。

- ※ ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。
- ※ 日程が変更されることがありますので、ご了承ください。
- ※ 講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。
- ※ 個人情報は、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター  
朝日JTB・交流文化塾

新宿

〒163-0210 東京都新宿区西新宿2-6-1  
新宿住友ビル内私書箱22号  
tel 03-3344-1945  
<https://www.asahiculture.jp/shinjuku>

2017年10月開講。おおよそ2年かけて全10期を予定しています。  
お申し込みは1期(3ヶ月)ごとに承ります。途中受講も可能です。

### <今後のテーマ>

#### 第3期(2018年4月-6月)

7. 北方ルネサンスとフォンテーヌブロー派(前編)
8. 北方ルネサンスとフォンテーヌブロー派(後編)
9. イタリア初期ルネサンス美術(前編)

#### 第4期(2018年7-9月)

10. イタリア初期ルネサンス美術(後編)
11. イタリア盛期ルネサンス美術
12. ヴェネチア派とマニエリスム

#### 第5期(2018年10-12月)

13. イタリア・バロック美術(前編)
14. イタリア・バロック美術(後編)
15. スペイン・バロック美術

#### 第6期(2019年1-3月)

16. フランドル・バロック美術
17. 17世紀オランダ絵画の黄金時代(前編)
18. 17世紀オランダ絵画の黄金時代(後編)

#### 第7期(2019年4-6月)

19. 17世紀フランス古典主義(前編)
20. 17世紀フランス古典主義(後編)
21. 18世紀フランス・ロココ美術

#### 第8期(2019年7-9月)

22. 永遠のヴェルサイユ(前編)
23. 永遠のヴェルサイユ(後編)
24. 18世紀ヨーロッパ美術の行方(18世紀ヴェネチア派、ゴヤ、新古典主義)

#### 第9期(2019年10-12月)

25. 19世紀フランス絵画(新古典主義とロマン主義)
26. 19世紀フランス絵画(バルビゾン派と近代絵画)
27. 印象派と後期印象派(前編)

#### 第10期(2020年1-3月)

28. 印象派と後期印象派(後編)
29. 18世紀イギリス美術史(スチュワート朝からジョージ王朝へ)
30. 19世紀イギリス美術史(ヴィクトリア朝からエドワード朝へ)

### <過去のテーマ>

#### 第1期(2017年10月-12月)

1. ギリシャ美術と古典主義
2. エトルリア美術とローマ美術
3. 初期キリスト教美術とロマネスク美術